

「輝いた目を取り戻す」

私は最近「輝いた目を取り戻す」ということを目標として、注意し心掛けていますが、皆様はそのようなことに関心を持ったことがあるでしょうか。

私は輝いた目と言いますと、直ぐに思い浮かべるのが牛の目です。と言うのは私が子供の時の役割は、牛を散歩させることでしたので牛の目をじーと見つめることがありました。牛の目は大きくて澄んでいて覗(のぞ)いている私の顔が写っているのが分かるほどです。

牛の目が何故そんなに澄んでいて、また輝いていると言っても良いと思います。そのような美しい目をしているのでしょうか。今考えてみるとその理由を次のように言うことが出来ると思います。第一に牛には二心が無いということです。牛は飼い主を信じていますし、疑うようなことはありません。牛は純粋です、と言うことができます。第二には不安、心配がないということです。飼い主を信じていますから不安に思うようなことはありません。このような理由から牛の目は澄んでいて輝いているのだと思います。

更に、輝いた目を持っている者に幼子の目を挙げる事が出来ます。赤ちゃんから就学前位までの子供さんの目は澄んでいて輝いていると言えます。何故、幼子の目がそんなに澄んでいて輝いているのでしょうか。その理由はやはり先程言いました、牛の目が輝いてるのと同じです。純粋で、疑うことをしないし、すべてを信じているということです。そのような純粋さが澄んだ目と輝いた目となっています。

さて、聖書には輝いた目について次のように記されています。(ルカ11:34)「目は体の灯である。目が澄んでいれば、あなたの全身が明るい。目が悪ければ、体も暗い。だから、自分の中にある光が暗くならないように気をつけなさい。」

目の輝きは心の輝きであり、目が濁っていれば、心が濁っているのです、と言っています。イエス様は「あなたの目が濁っていれば、全身が暗い。だから、あなたの中にある光が消えれば、その暗さはどれほどであろう。」と言っています。

さて、目の濁り、心の暗さは何を意味しているのでしょうか。実は神様は全ての人に祝福に祝福を加えようとしておられるのですが、目が濁っている人にはその祝福を届けることが出来ません。それは神の祝福を拒んでいることを現しているからです。神の祝福を受け取るには二心が無く、疑いのない純粋さが必要です。

純真さを失い疑いと、心に葛藤を覚えている人について聖書は次のように説明しています。(ローマ7:15~19)「

私は、自分のしていることが分かりません。自分が望むことを行わず、かえって憎んでいることをしているからです。

善をなそうという意志はあっても、実際には行わないからです。私は自分の望む善は行わず、望まない悪を行っています。」

このような心の状態が、私たちが初め幼い頃に持っていた輝いた目から、その光を失わせています。

その原因は人の心が満たされていない事です。愛されていない、受け入れられていない、不満で心が満ちている為なのです。私たちは捨て子のように思っているのですが事実はそうではありません。創造者は私たちの父、母なのです。キリストは言いました、「

わたしが来たのは、羊(人)が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。」(ヨハネ10:10)、神は私たちが歓喜に溢れて生きることを願っておられます。勝利の人生を歩んでほしいと願っています。不満な思いを感謝な思いに変えてまいりましょう。